



教育理念

自ら学び、共に学ぶ。

子どもたちは朝、登校すると一目散に校庭に飛び出し元気に遊びます。
教室では積極的に自ら考え、自ら学びます。
友だちとは、共に学び、助け合う心のやさしさを大切にしています。
伸びやかな学校生活、これが国立学園小学校です。



校長
佐藤 純一

授業を通して 子どもが輝く学校に

私は「やる気のない子どもはいない」と思っています。
やる気のないように見える子どもは、どうしたらいいのかが分からなくて、ちょっと立ち止まっているだけなのです。

私は学校の授業を通して、子どもが自分で問題を見つけ、自ら学び、考え、判断し、行動していくことができる子どもを育てて行きたいと考えています。そのためには、「できる」「分かる」という観点からだけの授業づくりではなく、「なるほど」「面白い!」といった感動のある授業を創っていくことが大切です。

なぜなら、子どもは知識や技能、あるいは考え方を、授業の中での先生や子どもとの話し合いや、子どもどうしのやりとりを通して、理解したり、授業の状況や雰囲気と共に身に付けたりするからです。つまり、授業の面白さに触れていくことができるということです。

その観点から考えてみると、授業の中では考えるよさを味わうには、「考えなくなる場」や「考えてよかった」「表現してよかった」と感じる展開を創っていく必要があります。私たちはそうした授業を実践するために、日々研究を重ねています。

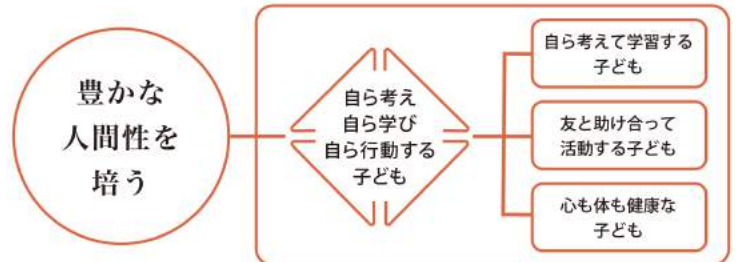
ただ、実際は上手くいかないこともあります。だから、そのことを振り返る時間を取ります。子どもはいろいろな経験や失敗をバネにして成長して行くからです。それを待つ姿勢を持つことが、子どもの輝きを創り出すことにつながっていきます。



かけがえのない子どもたち、
一人ひとりを見守りながら、
自分の人生を創り上げていくことのできる
子どもを育てます。

■教育目標

教育実践で目指す具体的な子ども像



子どもたちは、自ら考え、自ら学びます。



子どもたちが成長していく過程で、未知の出来事に遭遇した時に大切なことは、6年間でしっかりと身につけた「自ら考え、自ら学び、自ら行動する」力です。

学ぶ力をさらに伸ばす本校の強さは、
専門の教科を専任が担当する
教科担任制です。

教科担任制のよさは、担当の教科を探究できるところにあります。そして、質の高い授業を多面的、継続的に実践できます。また、一人の子どもを複数の教師の目で見守り、評価できるという利点もあります。

教科担任授業	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
国語	6	7	6	6	5	6
社会	—	—	3	4	4	5
算数	4	5	5	5	6	6
理科	—	—	3	4	4	5
生活	3	3	—	—	—	—
読書	1	1	1	—	—	—
音楽	2	2	2	2	2	1.5
図画工作	2	2	2	2	2	1.5
家庭	—	—	—	—	2	0.5
体育	3	3	3	3	3	2.5
英語	1	1	1	1	1	1
しらかばの時間	1	1	1	1	1	1
クラブ・委員会	—	—	—	—	1	1
総授業時間数	23	25	27	28	31	31



1～2年生は

芸術科目に教科担任制を導入。
豊かな感性が身につきます。

1年生は、部分的に教科担任制がスタートします。国語、算数、生活、しらかばの時間は学級担任が担当し、芸術科目の音楽、図工、そして、体育、英語、読書の学習はそれぞれの専任教師が担当します。
2年生になると学校生活もすっかり慣れ、もう立派な先輩です。1年生で学んだ基礎学力が定着し、1年生の子どもたちに遊具の使い方など教え、専用ベランダでは野菜を育てるなどをして、不安そうに入学時からは見違えるような大きな成長が見られます。



みんなとても明るく、元気ハツラツです。



3～4年生は

元気な声が教室内に響き渡ります。
4年生は全教科で教科担任制を実施。



3年生からは、高学年校舎へ移動します。校舎の使い方を学び、教科も理科が教科担任制となり、充実した授業が実践されていきます。新しいクラス編成で友だちをたくさん作り、友だちの良い所を見つけます。4年生からは、すべての教科を専任の教師が受け持つようになり、専科制の授業が展開されます。授業はさらに充実し、子どもたちは益々元気ハツラツとなります。放課後の使い方を考え、高原学校で5年生からいろいろと学び、自立に芽生えて頼もしくなっていきます。



教頭
酒井 満希子

共に学ぶ・・・

「先生、リコーダーを教えてもらってできるようになったよ!」と目を輝かせて演奏を聴かせてくれる子どもがいます。傍らには、教えた子どもの満足げな笑顔があります。工夫をこらして教えたことが、友だちの成果に結びついたからです。共に学び合うすがたが輝く場面です。

一斉授業では、仲間のつぶやきや意見に耳を傾け、自分の考えと違う部分や共感する部分を明らかにできるようにしてほしい。そのような関わり合いが持てるようにするために、私たちは一方的に教え込むのではなく、一人ひとりが自分の考えや思いを深められるような指導を目指しています。間違っている考え方も、安心感を持って自分の意見を言える学習集団づくりを目指しています。本当に身につく学びは、自分で発見したことにほかなりません。

友だちの力や考え方を尊重し、認め合い、ひとりよがりではない自らの考え方を見つけられる子どもに。「やさしさ、たくましさ、かしこさ」があふれる子どもに。そのようなすがたを願って、私たち子どもたちと向き合い、寄り添い、共に学んでいます。



共に学び合いながら、学習意欲も高めます。

「学ぶ力」を先生と一緒に身につけます。



学習指導

5～6年生は

学ぶ意欲が大きな力となる。
低学年には、憧れの存在になります。



6年生は夢に向かって 中学進学準備をします。

よく考え、自ら学ぼうとする意欲を持った子どもを育成していくことに主眼を置き、質の高い授業を実践していきます。

6年生になると子どもたちは、友だちと共に学び、助け合いながら中学進学準備を進めます。そして自分と向き合い、自分を高め、自分の将来について真剣に考える頼もしい子どもに成長します。

5年生からの算数は、二人の専任教師が担当となります。クラブや委員会活動に積極的に参加するようになり、奉仕活動にも進んで取り組みます。高原学校では4年生にいろいろなことを教えます。

6年生からは国語も二人の専任教師が担当となり、中学進学に向けた学力をつけていきます。また、最高学年として自覚を持ち、低学年のお手本になる行動を心がけます。



教科担任制の魅力

1 一人の子どもを多くの教師の目で見ること、一人の子どもを多面的に捉え、子どもの個性を見出し、可能性を広げたり伸ばしたりすることができます。

2 一人の教師が複数の教科を持たないので、自分の時間を生かした教科の研究ができ、より広く深く余裕を持って、子どもと接する授業が展開できます。



国語科

言葉を大事にして読む書く話す…
谷 彩乃先生



言葉を大事にしながら授業を進めています。「読む、書く、話す、聞く」の活動を通し、友だちを理解し、仲良く関わりながら、言葉の力を広げたり、深めたりしています。



社会科

聞く、見ることに疑問を持って…
萩原和晃先生



本や資料をただ覚えるのではなく、実際に足を運び、自分で見たことを大切に、分かったことや疑問に思ったことをポスターや新聞にまとめる力を大事にしています。



算数科

答えの過程を重視して広く深く…
江橋直治先生



ただ答えを出すことを求めるのではなく、答えに至る過程を重視して、一つの考えを広げたり、深めたりする授業を展開し、考え方の共有化を図っています。

自ら考え、自ら行動する力も育ちます。

たくさんの考えが出て活気ある授業です。



学習指導



理科

一人1台の顕微鏡で観察力を…
中根眞紀先生



自然に親しみ、観察や実験を通して、見たことや感じたことを大切にしています。周りの意見や考えにも耳を傾けることを大事にして、観察力や洞察力を育てています。



生活科

働く人のこと、世の中のことなど…
松山来未先生



1年生では1年間かけて、校庭の木や植物を観察し、四季の変化を感じます。2年生では畑で作ったさつまいもを焼きいもにして食べたり、つるを使ってリースを作ったりしています。



図工科

聞く、見ることに疑問を持って…
山本紀美子先生



平面や立体の作品づくりを通して、自分らしさが表出できる時間と場を大事にしています。学年ごとにテーマを決めて一つの作品に仕上げ、「東初協作品展」に出品しています。



家庭科

分かる喜び、ものを作る喜びを…
田中智恵先生



昼食作りの調理実習やエプロン作りの被服実習等、実践的な活動を通し、共に学び、協力し合うことを大切にしています。身につけた知識・技能を日常生活にも活用するようになります。



読書科

本に親しみ身近に楽しむ習慣を…
小室麻友先生



1年生から3年生まで、司書教諭による授業が週一回、図書室で行われています。このことで子どもたちには、本に親しみ、より身近に本を楽しむ習慣がしっかりと身につけていきます。



音楽科

歌心を育てる音楽づくりから…
馬淵公一先生



歌唱指導で歌心を育て、その歌心をもとに器楽学習では教え合ったり、共感したり、ぶつかり合ったりしながら、自分たちで音楽を創り上げることを大切にしています。



体育科

体を動かし丈夫な体と心を育てる…
田淵 航先生



できるだけ体を動かし、丈夫な体と心を育てています。授業の中では子どもたち同士が教え合い、励まし合いながら取り組む時間を大切にしています。マット運動もできるようになります。



英語科

耳に入る音を積極的に声で…
福士裕紀先生



日本人教師とネイティブ教師の2名で、耳から入る音を大事にして、積極的に声に出すことを大切にしています。また、「音を聞いて書く」ことも取り入れています。

わくわく、ドキドキの学校行事が始まります。

もう、立派なお兄さんとお姉さんです。



学校行事

1・2年生

見るもの聞くもの、みんな初めてのことばかり。
一日一日頼もしく成長します。

1・2年生で大切にしていることは、学校生活のルールを教えることです。授業に臨む態度や友だちとの関わり方、校庭の使い方など、自分が学校の中でどうしていったら良いかを考えさせます。ここから充実した学校生活がスタートします。



おもちゃ祭り

どのように遊ぶのか。
1年生にも分かるように
2年生が説明していきます。



2年生が「おもちゃまつり」を企画して、自分たちでおもちゃを作ります。そして、教室全体にお店を開いて1年生を招待します。それぞれのお店で、1年生に楽しんでもらえるように丁寧にやり方を説明します。1年生は初めての経験にわくわく、ドキドキです。



もちつき

初めてのもちつき体験です。
つきたてのもちは、温かくて
やわらかくて、とてもおいしいです。

1・2年生の生活の授業の中で、もちつきを行います。もち米を蒸して、それを白の中に入れて、杵でついて、もちになっていく様子を観察します。また、一人ずつ実際に杵をつけて、出来立てのもちをみんなでおいしくいただけます。



3・4年生

学ぶ力と心の力がしっかりと身についてくる頃です。
自分の世界も広がっていきます。

3年生ではクラス替えがあるので、まず友だちと積極的に関わり、友だちのことをよく知ることを大切にしています。そして、4年生では、友だち同士を認め合い、一緒に活動する時間を多く持つことで友だちがよりたくさんできるようなしています。



サマースクール

夏休みの一、学校に泊まります。
夜の学校の探検は、わくわく、ドキドキ!興味津々です



夏休みの一、クラスごと学校に泊まります。ブルで遊んだり、女の子でもお相撲をしたりします。夕食の係り、クラスの時間など、一日をどのように過ごすか、すべて自分たちで話し合っ決めて。みんなで作ったカレーライスの味は最高です!



異学年交流

下級生に何をしてあげられるか。
異学年交流の場から人を思いやる心が育まれていきます。

1・6年、2・4年、3・5年、4・5年でペアを作り、遠足や高原学校に行っています。また、木曜日の朝の会に「児童集会」があり、2学年が一緒になってゲームをしたり、クイズをしたりして楽しみ、朝の体育館は元気がいっぱいです。



1年生～6年生の365日

4月

始業式
入学式
保護者会
1年生を迎える会
開校記念日
児童会総会



入学式

5月

集団下校
春の遠足(2・3年生)
1・6年生合同遠足
高原学校(4・5年生)



6月

授業参観
学校説明会
学校見学会



7月

保護者会
保護者面談
終業式
サマースクール(3年生)
修学旅行(6年生)
夏季水泳

8月

夏休み



9月

始業式
1年生引き取り訓練
社会科見学(3～6年生)
学校説明会
学校見学会



運動会

10月

運動会
秋の遠足(1年生)
2・4年生合同遠足
3・5年生合同遠足



11月

入学考査
授業参観
生活科見学(1・2年生)
やさいも会





5・6
年生

学ぶ力と心の力が身につき、子どもたちに自立する姿が見られるようになります。

5年生からクラブ、委員会活動が始まります。学校生活がさらに楽しく、充実したものになるように、奉仕の精神で仕事をします。6年生では、さらに学校生活の中心としての役割を担い、自立を意識させ、より積極的に活動するようにしていきます。



高原学校

一日のスケジュールを組み、どこにハイキングに行くのか、何をするのかなどを決めます。

4・5年生男女20人が一つの班になり、2泊3日の生活を共にします。その中で、飯盒炊さんを子どもたちだけで行い、カレーライスを作ります。キャンプファイヤーでは、係が司会をし、歌と踊りで盛り上げ、この高原学校が子どもたちのよき思い出となります。



班活動では、大平山や忍野八海へのハイキング、風穴・氷穴・コウモリ穴への探検などの中から、班の人たちと相談して、一日をどう過ごすかを決めていきます。4年生をリードする5年生の姿を見て、多くを学びます。



12月

音楽鑑賞会
保護者会
保護者面談
終業式



1月

始業式
もちつき会
新1年生オリエンテーション



2月

中学入試
しらかば祭
駅伝大会(4~6年生)



しらかば祭

3月

卒業遠足(6年生)
児童会本部委員選挙
児童会総会
保護者会
6年生を送る会
卒業式
修了式

修学
旅行

《宿泊行事の集大成》

事前に、目的地までの交通機関を利用するか、どのように活動するかを話し合っておきます。

広島市の平和記念公園に行きます。まず最初に被爆体験講話を聞き、原爆の恐ろしさ、戦争の悲惨さを改めて考えます。その後、班ごとに計画を立てておいた通りに、平和記念資料館と平和記念公園内の碑を見学し、みんなで平和を祈念します。

1日目



2日目

朝、8時15分の「平和の鐘」の時間に合わせて、原爆の子の像へ行き、全員でお祈りをします。それから、3つの交通機関を使って班ごとに宮島へ移動します。そこでは厳島神社への参拝をして、弥山に登ったり、もみじまんじゅう作りをしたりします。

2日目班活動

班名	活動内容	料金
1班	原爆の子の像へ参拝し、お祈りをします。	100円
2班	厳島神社にお参りし、お祈りをします。	350円
3班	カヌーに乗って、お参りをします。	900円
4班	カヌーに乗って、お参りをします。	900円
5班	カヌーに乗って、お参りをします。	900円
6班	カヌーに乗って、お参りをします。	900円
7班	カヌーに乗って、お参りをします。	900円
8班	カヌーに乗って、お参りをします。	900円
9班	カヌーに乗って、お参りをします。	900円
10班	カヌーに乗って、お参りをします。	900円
11班	カヌーに乗って、お参りをします。	900円
12班	カヌーに乗って、お参りをします。	900円
13班	カヌーに乗って、お参りをします。	900円
14班	カヌーに乗って、お参りをします。	900円
15班	カヌーに乗って、お参りをします。	900円
16班	カヌーに乗って、お参りをします。	900円
17班	カヌーに乗って、お参りをします。	900円
18班	カヌーに乗って、お参りをします。	900円
19班	カヌーに乗って、お参りをします。	900円
20班	カヌーに乗って、お参りをします。	900円

3日目

朝から班ごとに計画を立てておいた岩国、秋吉台、鞆ノ浦、姫路の4つの方面に分かれて活動します。それぞれの場所では、錦帯橋、秋芳洞、常夜燈、姫路城を中心に見学します。そして、実際に行って分かったことを、夜の集いで他の班の人たちと報告会を開き、説明をします。



子どもたちは、自ら考え、自ら活動します。



学校行事

運動会

道具の準備、子どもたちの誘導、案内の放送、スタートのピストルなど、進行は全て5・6年生の係の子どもが中心となって行います。



ダンス(5・6年女子)

梅、桜組の縦割りりで得点を競います。それぞれの学年での団体競技では、クラスごとに作戦を考え、子どもたちが自主的に練習を行います。



準備係



スターター係



放送係



台風の目(3年生)



騎馬戦(5・6年男子)



5段綱像(5・6年男子)

しらかば祭

子どもたちが1年間取り組んできた学習の成果を舞台発表・作品展示という形で発表します。またクラブ・委員会の発表も行います。



ブラスバンドクラブの演奏



理科室の展示作品

舞台では、音楽の学習として合唱と合奏が、国語の学習として朗読が発表されます。展示発表では、図工の立体と平面の作品が展示されます。その他学年によって、書道、社会のポスター、理科のレポートや作品、算数の作品などが展示されます。



合奏



朗読



低学年校舎展示作品



図工室の展示作品

「心の力」もどんどん磨かれていきます。



学校生活

朝の会

木曜日の朝の会は、5・6年生の集会委員会や、図書委員会の人たちが、異学年でどんな交流をするか考えます。これが学校生活の楽しみの一つになっています。



七夕集会(集会委員会)

「今日は何な集会だろう」と低学年の子どもたちはワクワクしています。異学年との交流を通して知り合いになり、友だちが増えていきます。



クリスマス集会(集会委員会)



ペーパサート(図書委員会)

放課後活用

月・水・金曜日は、帰りの会が終わった午後3時30分から午後5時までの間を、「放課後活用」の時間として自分たちで過ごし方を見つけて活用します。



5年教室



4年教室

一日の学習を終えると、子どもたちの心には「もう少しやりたかったなあ」とか「まだよくわからない」とか「あの先はどうなるのだろう」といった思いがあります。その気持ちに答えるのが放課後の時間です。跳び箱の練習、理科の実験など子どもたちは自分で取り組んでみたいことを見つけて、自ら行動します。



音楽【音楽室】



体育【体育館】



理科【理科室】

特別活動 やってみたい活動に自ら参加し、

新しい可能性を見出していきます。



学校生活

クラブ活動

5・6年生になると16のクラブの中から、自分でやってみたいものに積極的に参加し、元気いっぱいに活動します。クラブ活動を通して新しい自分を発見します。

陸上 ショートテニス 料理 美術 科学 歴史 パソコンロボット



野球

国立市少年野球春季・秋季大会や東初協体育発表会などに参加しています。



サッカー

定期的に他校との交流試合を行ったり、東初協体育発表会などに参加しています。



バスケットボール

本校体育館を会場にした東初協体育発表会などに参加しています。



バドミントン

東初協体育発表会などに参加したり、複数校との交流試合を行ったりしています。



卓球

東初協体育発表会などに出場したり、複数校との交流試合を行ったりしています。



競技カルタ

決まり字で取れるように、まず暗記します。対戦では、集中力を高めて、読手の声に耳を澄ませます。



鉄道研究

最低料金で南関東を一周したり、箱根方面への一日旅行をしたりします。



ブラスバンド

校内の式典などでの演奏の他に、東初協音楽祭で他校との合同演奏会を行っています。



囲碁・将棋

各種将棋大会に参加しています。全日本将棋大会で準優勝したこともあります。

委員会活動

11の委員会の中から自分が選んだ活動に自ら参加し、友だちと一緒により過ごしやすい学校の環境づくりに勤めています。

体育 集会 飼育 掲示 ペルマーク



新聞

毎月発行している「学園タイムズ」は、新聞社主催のコンクールで毎年優秀な賞をいただいています。



保健美化

校内の衛生環境と美化のため、「衛生検査」をしたり、壁磨きなどの校内清掃をしたりしています。



児童会本部

学校行事での司会・進行の他に、各交通機関への挨拶回りや労労感謝のお礼回りをしています。



栽培

校内にある花壇の花を、季節ごとに選んだり定期的に植え替えたりして、水やりをしています。



放送

毎週木曜日の昼食時に「お昼の放送」を実施しています。各委員会からのお知らせや報告をしたり、クイズなど工夫した「特集」をしたりしています。



図書

図書室のカウンター当番や本棚の整理以外にも、お昼の放送や図書だよりで、本の紹介をしています。

しらかば合唱団

3年生から6年生までの歌が大好きな男女で構成されています。毎日、中休みに第二音楽室で合唱の練習をしています。子どもたちの歌声を聴くとみんな笑顔になります。



くにたちさくらコンサート



NHK全国学校音楽コンクール



東初協音楽祭

12歳の選択をして、自ら中学進学に向かいます。

その子にふさわしい中学校を見つけます。



進学指導

中学受験という節目を迎えることは、その後の高校、大学、そして社会で様々な課題にぶつかったとき、その経験が乗り越える大きな力となります。いつも身近で子どもたちを見守り続けている多くの教師の確かな目が、中学受験をしっかりとサポートしています。

校内テストと個人成績票

一斉テストは年5回実施、6年生は年10回テストを実施。更なる力の向上につなげます。

一斉テストは、中学校や高校で行われている「中間・期末テスト」と同じ時期に、1年生から実施しています。このテストを通して、今の自分の状況を知り、日頃の取り組み方を反省し、次に生かしていきます。

中学入試難易度表

過去5年間の中学入試結果を基に、本校独自の男女別中学校難易度表を作成しています。

毎年、6年生のほとんどが自由募集校の私立、国立中学校、あるいは中等教育一貫校を受験します。そのため、本校独自の難易度表を作成して、中学校選択の際の一つの資料として役立てています。

習熟度別時間割

習熟度別に4クラスを編成、オリジナルの教材で展開し、中学受験に自信を持たせます。

6年生の10月までに小学校学習課程を終了させ、11月から1月までは、中学受験に向けた対策を講じます。そこでは、3クラスを4クラスに再編成し、習熟度別による授業を実施していきます。

卒業生 & 保護者アンケート

卒業生が実際に進学した中学校で、今どんな生活を送っているかをレポートしてくれています。

毎年、6年生は60~70校の中学校に進学しています。そこでの生活ぶりは実際どうなのか。これは受験雑誌にも書かれていない、学校説明会でも言わない、事実に基づいて作られているので、他には例がない貴重な資料です。

児童 & 保護者面談

学級担任は、定期的に児童と保護者に面談を行います。一人ひとりにきめ細かな指導が行き届きます。

学期末の一週間は短縮授業となり、保護者面談の期間を設けています。学校生活の様子をきめ細かく伝えることを通して、子どもの良い面を伸ばし、気になる面の改善をしていきます。高学年になると、児童とも面談を行い、生活面と学習面を見つめ直す指導を行います。

中学訪問

毎年、卒業生が進学した中学校に実際に訪問し、事実に基づいた情報を収集しています。

毎年6月、9月、1月に、合わせて約30の中学校を全教員が訪問しています。そこでは卒業生の様子を直接伺うとともに、各校の情報を聞き出します。そして、そのことを資料に整理し、進学指導の際に大変貴重な資料として大いに役立てています。この資料は、6年生の各教室にあり、いつでも見ることができます。



【過去5年間の中学合格 & 進学状況】

2020年3月現在 (五十音順)

	学校名		合格	進学	学校名		合格	進学	学校名		合格	進学
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
男子校	浅野	1	0	麻布	5	5	栄光学園	1	1	海城	25	18
	開成	7	3	海陽中等教育学校	4	0	学習院中等科	3	2	暁星	9	6
	慶應義塾普通部	1	1	京華	1	1	攻玉社	12	4	佼成学園	32	12
	駒場東邦	23	19	芝	12	6	芝浦工業大	1	1	城西川越	2	0
	城北	20	11	城北埼玉	43	7	巣鴨	17	8	聖学院	2	1
	聖光学院	8	6	成城	11	5	世田谷学園	17	9	高輪	4	1
	東海	1	1	東京都市大学付属	16	7	桐朋	42	20	武協	18	12
	面館ラ・サール	5	0	北嶺	4	3	本郷	9	2	武蔵	7	5
	明治大学付属中野	4	2	明法	4	4	ラ・サール	2	1	立教新座	42	8
	早稲田	7	6	早稲田大学高等学院中部	2	2	筑波大学附属駒場	6	6			
女子校	跡見	3	3	浦和明の星女子	42	3	桜蔭	11	11	陽明学園女子	10	8
	大妻	8	4	大妻多摩	17	10	大妻中野	25	7	学習院女子中等科	5	5
	鎌倉女子学院	1	1	カリタス女子	6	2	吉祥女子	23	17	共立女子	5	4
	共立女子第二	9	4	惠泉女子学園	5	2	光塩女子学院中等科	7	5	晃華学園	13	9
	駒沢女子	1	1	実践女子学園	4	1	淑徳与野	19	2	女子学院	6	5
	女子美術大学付属	2	2	白百合学園	8	4	洗足学園	4	2	東京純心女子	2	0
	東京女学院	9	3	桐朋女子	11	2	東洋英和女学院	3	3	豊島岡女子学園	17	6
	日本女子大学	1	1	面館白百合学園	5	0	不二聖心女子学院	2	2	富士見	6	4
	雙葉	5	5	三輪田学園	2	1	山脇学園	2	1	立教女子学院	4	4
	共学校	聖光	8	1	青山学院中等部	2	2	市川	12	0	浦和実業学園	12
順明館		31	23	桜美林	2	1	大宮開成	6	0	開智	8	3
慶應義塾湘南藤沢中等部		3	2	慶應義塾中等部	2	1	啓明学園	2	2	工学院大学附属	7	6
國學院大学久我山		69	21	埼玉栄	18	3	栄東	155	3	佐久長聖	11	0
狭山ヶ丘		9	0	渋谷教育学園渋谷	10	6	渋谷教育学園幕張	10	3	秀明	1	0
聖徳学園		8	3	成蹊	7	4	成城学園	2	1	西武学園文理	119	0
西武台新塾		14	0	聖望学園	12	0	創価	1	1	多摩大学附属聖ヶ丘	2	0
中央大学附属		14	9	帝京大学	7	4	桐蔭学園中等教育	4	2	東京電機大学	37	15
東京都市大学等々力		2	1	東京農業大学第一高等学校中等部	2	1	桐光学園	2	0	同志社香里	1	1
東邦大学付属東邦		11	1	東洋大学京北	1	1	獨協埼玉	2	0	ドルトン東京学園	1	1
長崎日本大学		3	0	西大和学園	12	0	日本大学第二	13	11	日本大学第三	2	1
八王子学園八王子		8	1	広尾学園	7	2	法政大学	1	1	宝仙学園理数インター	7	3
星野学園		12	0	三田国際学園	3	1	宮崎日本大学	11	0	武蔵野大学	5	1
武蔵野東		2	2	明星	3	2	明治学院	10	3	明治大学付属中野八王子	10	7
明治大学付属明治		5	3	横浜翠陵	1	1	和光	1	1	早稲田佐理	1	1
早稲田実業学校中等部		7	5	早稲田摂陵	4	0	さいたま市立浦和	1	1	立川国際中等教育学校	1	0
東京学芸大学附属小金井		4	2	東京大学教育学部附属	2	2	都立富士	1	1	武蔵高等学校附属中学校	3	2



教育環境

施設

正門を入ると、武蔵野の面影が残る校庭が広がります。
大きな松の木やくぬぎの木に見守られながら、
子どもたちは元気に活動します。
四季折々の花が咲く校庭で、
木登りや鬼ごっこを楽しんでいます。



1 小学校正門



2 かたばみ幼稚園



3 アスレチック



4 しらかばの池



7 運動場



8 体育館

「多摩のまちなみ建築デザイン賞」
優良賞を受賞



6 屋上運動場



9 プール



10 アフタースクール建物外観



図書室



家庭科室



低学年校舎1・2階



高学年校舎2・3階

子どもたちは朝登校すると一目散に校庭に駆け出します。



9 細ピオトープ



音楽室は2室あります。



視聴覚室

冬の制服

夏の制服

校内着



私のいまを育ててくれたのは
国立学園小学校です。

第69期卒業生 盛田 真央
国立音楽大学声楽科卒業
同大学院フランス歌曲コース修了
二期会オペラ研修所第52期マスターズ クラス修了
パリ・エコール・ノルマル音楽院首席
パリ国立高等音楽院修士課程最優秀の成績で卒業
第17回日仏声楽コンクール 第1位
第12回東京音楽コンクール声楽部門第2位

甲子園で先生方が
応援してくれたお陰でベスト4です。

第84期卒業生 吉村 優
早稲田大学理工学部在籍
早実高等部時硬式野球部副主将
第97回全国高等学校野球選手権
大会西東京大会にて優勝
第97回全国高等学校野球選手権(夏の甲子園)にて
ベスト4 第98回全国高等学校野球選手権
大会西東京大会にて準優勝
高等部3年時はエースとして活躍。



子どもたちは元気に都区内、神奈川県、埼玉県からも通学しています。



安全指導

低学年の子はお兄さん、お姉さんと方面別グループ下校します。



登下校指導・安全指導・緊急連絡メール

子どもたちを通学区域別に32の班に分けて方面別下校を行います。また、教職員や保護者による登下校指導も行っています。



安全指導として、1年生は「交通安全教室」、2・5年生は「セーフティ教室」を実施しています。緊急時には、アプリ・電子メールによる連絡網システムを活用しています。

防犯について

校門には人の出入りを監視する防犯カメラが設置されています。不審者が侵入しないように絶えず監視をしています。



アフタースクール After School

2020年4月より、1年生から3年生を対象にしたアフタースクールを実施しています。

預かりは午後3時30分から午後6時30分で、長期休業中(午前8時30分から午後6時30分)も実施します。科学実験、プログラミング、英会話などのプログラムにも参加できます。



◆新しくスタートするアフタースクールの建物外観

▼通学区分布図



※通学時間に制限はありません。

防災について

万一の災害に対しての訓練を、教職員が連携して行っています。また、学校の非常食・用品の他に、児童一人ひとりに「防災緊急キット」を購入していただき、備蓄しています。



避難訓練

地震・火事・不審者を想定した避難訓練を年7回実施しています。いざという時に備えられるように「煙体験訓練」も実施しています。



お弁当注文システム



季節に合わせたメニューで、冷凍食品を一切使わないお弁当を注文できます。低学年用と高学年用の2種類を、前日の午後9時まで申し込むことができます。

◆冷凍食品を一切使わない手作りのお弁当です。

大正デモクラシーの自由主義教育から100周年に向けて...



歴史・沿革



創立者 堤 康次郎
前理事長 堤 清二
理事長 黒井 千次

教育における環境の重要性を認識していた本校創立者堤康次郎は、当時、東京商科大学(現一橋大学)の移転計画に合わせて開発が行われていた国立の地に、整然とした道路網と四季折々の自然が美しい街路樹を配し、落ち着いた景観の学園都市建設を実現しました。また、自らも学校設置者として、「個性を伸ばし、自由と創造を尊び、文化の建設に役立つ人間を育成する」ことを理念に、1926年、国立学園小学校を創立しました。以来一貫して「豊かな人間性を培う」学び舎として子どもたちの教育活動に専心しながら今日に至ります。

1974年からは「4年生以上全教科担任制」を導入。また1992年からは他校に先駆けて「完全学校週5日制」を実施するなど、現状に甘んじることなく、教育体制や制度改革を積極的に取り組んできました。2016年には、国立学園小学校は創立90周年を迎えました。

そして今、私たちは決意を新たに、100周年に向けてこれからも21世紀をたくましく生きぬく子どもたちの育成に全力を尽くしていきます。

沿革

1926(大正15年)	4月	国立学園小学校開校(児童4名、教員2名)	1986(昭和61年)	3月	低学年・特別教室校舎新築、高学年校舎内部改造
1951(昭和26年)	3月	学校法人国立学園として認可される堤清二が理事長に就任	1988(昭和63年)	4月	第6学年算数科教員2人制開始以後、国語科及び第5学年算数科にも拡大
1954(昭和29年)	4月	国立学園附属かたばみ幼稚園開園	1992(平成4年)	4月	完全学校週5日制実施
1964(昭和39年)	4月	創立者堤康次郎初代理事長逝去	1998(平成10年)	7月	隣接地を取得、菜園を主体としたビオトープを造成
1965(昭和40年)	10月	体育館兼講堂新築	2005(平成17年)	12月	80周年記念新体育館・プール完成
1970(昭和45年)	7月	在任44年間の山本丑蔵校長逝去	2006(平成18年)	4月	80周年記念式典開催
1973(昭和48年)	4月	現在の学級編成(1学級40名、1学年120名、3学級)始まる	2013(平成25年)	11月	堤清二理事長逝去
	5月	新校舎(鉄筋コンクリート造り)完成	2014(平成26年)	1月	黒井千次が理事長に就任
1974(昭和49年)	4月	第4学年以上、全教科担任制を実施	2016(平成28年)	4月	90周年記念式典開催
1975(昭和50年)	6月	プール完成			